

令和3年度 学会発表一覧

	発表学会等	開催日時	演題	要旨	発表者（※：筆頭演者）
1	沖縄生物学会第58回大会 (オンライン)	2021年5月29日	沖縄島で確認された日本初記録のウメヒ(爬虫綱)	沖縄島近海で採集された日本未確認のウメヒについて、種同定の結果および標本から得られた生態について発表した。	※ 笹井隆貴 ・山本拓海・ 國嶋一樹 ・戸田 守
2	沖縄ブロック国土交通研究会	2021年6月21日	那覇空港に漂着したマッコウクジラ ー腐敗と観測と鯨体の処理方法についてー	2020年11月26日に那覇空港に死亡漂着したマッコウクジラについて、漂着発見から約2ヶ月間におよぶ鯨体の腐敗状況の観察から埋設処理に至るまでの詳細について調査した結果を報告。	※ 國嶋隆盛 ・狩野秀幸・玉城裕一、 風連幸直 、 小林裕貴
3	International Congress of Young Marine Researcher	2021年9月13～16日	Structure of the Ambulatory Flaps of Paintpot Cuttlefish (Metasepia tulbergi) for Walking	ハナイフが腹部を使って匍匐する現象において、脚のように変形する腹部の組織構造について発表を行った。	※Omura A, Takano H Oka S Takei S
4	日本爬虫両棲類学会第60回大会 (オンライン)	2021年9月18～19日	青年輪法によるキシノウエトカゲの年齢推定	天然記念物であるキシノウエトカゲの年齢を青年輪法を用いて推定した。	※ 笹井隆貴 ・山本拓海・戸田 守
5	第56回日本魚類学会年會 (オンライン)	2021年9月18～20日	沖縄島の干潟で採集されたイソハゼ属魚類の分類学的研究	沖縄島北部の干潟で採集したイソハゼ属魚類が、既知種とは異なる特徴をもつことが明らかになった。	※ 花原 誠
6	第40回日本比較眼科学会年次大会	2021年10月1～9日	【基調講演】寝てもサメも・美ら海サメ学	沖縄美ら海水族館の研究活動やサメの視覚オプションに関する最新の知見を紹介。	※ 佐藤圭一
7	2021年度日本医真菌学会	2021年10月29～30日	PCRとLAMP法の組み合わせで確定した クジラ型バラコクシジロイデス症の2症例	クジラ型バラコクシジロイデス症の病原体簡便検査方法として、PCRとLAMP法を組み合わせることで、軽微な病変でも診断が可能になったことが明らかとなった。	※ 鎌ヶ江光 ・佐野文字子・ 續田隆一
8	第45回日本比較内分泌学会大会 及びシンポジウム	2021年11月12～14日	「軟骨魚類の比較内分泌学」 沖縄美ら海水族館が実現した 大型サメ・エイ類の長期モニタリングによる繁殖生態の解明	沖縄美ら海水族館で得られた生殖生理学的なモニタリングの成果を紹介。	※ 佐藤圭一
9	環境DNA学会第4回大会 (ウェブ大会)	2021年11月20日	環境 DNA 重力濾過システムの開発動力不要の簡易ろ過法	高価な機器や多大な消耗品を要した環境DNAのろ過処理について、動力を全く必要とせず、重力のみを利用した簡便かつ効率的なろ過方法を開発し、その詳細を報告した。	※ 國嶋一樹 ・宮 正樹
10	第47回海獣技術者研究会 (オンライン)	2021年11月25日	オキゴンドウの血清中テストステロン濃度 および精液性状の長期モニタリング	オキゴンドウの精液性状と血清中テストステロン濃度の長期的なモニタリングを行い、これらには明確な季節変動があることを明らかにした。	※ 比嘉 喜 ・ 小俣万里子 ・ 中村隼星 ・ 續田隆一 ・ 河津 勲
11			妊娠中のオキゴンドウにおける胴周囲長と乳溝間隔の変化	妊娠したオキゴンドウの胴周囲長と乳溝間隔のモニタリングを行い、これらが子宮の状態や胎児の成長等を把握するために有用であることを明らかにした。	※ 日高聖晃 ・ 比嘉 喜 ・ 河津 勲
12	2021年度飼育野生動物研究会大会	2021年12月4～5日	ウミガメの適正餌料を調べる：沖縄美ら海水族館の飼育研究事例	沖縄美ら海水族館において、ウミガメ類の脱出率の向上や孵化幼体の死亡率の軽減を目的に行ってきた餌料関連の研究を紹介した。	※ 河津 勲 ・ 前田好雄 ・ 木野利克 ・ 小俣万里子
13	土佐生物学会(オンライン)	2021年12月11日	八重山諸島におけるアオウミガメ孵化幼体の一次性比の決定	内視鏡を用いた生殖腺の直接観察と血中性ホルモン分析によって、アオウミガメの野外における孵化時の性比を明らかにした。	渡邊様子・亀田和成・福永憲隆・柿添裕香 ・ 笹井隆貴 ・ 河津勲 ・志垣理紗・斉藤知己
14			タイマイにおける孵卵温度と遊泳水温が 孵化および幼体の運動性に及ぼす影響	タイマイの孵卵温度や孵化幼体が入水した時の海水温が、孵化率や孵化幼体の運動性にどのような影響を与えるのかを明らかにした。	横井瞳・ 笹井隆貴 ・ 小俣貴洋 ・ 喜原田賢 ・ 水落夏帆 ・ 河津勲 ・斉藤知己
15	日本板鰐研究会 板鰐シンポジウム2021	2021年12月17日	長期飼育による深海サメ類の繁殖様式の研究とその意義	沖縄美ら海水族館で長期観察した卵黄依存型の胎生種であるノコギリザメを対象として、超音波画像による観察と血中性ステロイドホルモンの変動を調査した結果、ノコギリザメでは約3年周期で繁殖することが明らかとなった。	※ 高西穂子 ・ 村瀬清哉 ・ 金子肇史 ・ 比嘉俊博 ・ 佐藤圭一
16	第32回日本ウミガメ会議 (オンライン)	2021年12月18日～19日	軽石を誤嚥したアオウミガメ孵化幼体の初記録	軽石の誤飲が初めて確認されたアオウミガメの孵化幼体について報告した。	※ 河津 勲 ・ 笹井隆貴 ・ 喜原田賢 ・ 中村隼星 ・ 小俣貴洋 ・ 中島慶理 ・ 山崎 啓 ・ 水落夏帆 ・ 續田隆一
17			八重山諸島におけるアオウミガメ孵化幼体の一次性比の決定	内視鏡を用いた生殖腺の直接観察と血中性ホルモン分析によって、アオウミガメの野外における孵化時の性比を明らかにした。	渡邊様子・亀田和成・福永憲隆・柿添裕香 ・ 笹井隆貴 ・ 河津勲 ・志垣理紗・斉藤知己
18			タイマイにおける孵卵温度と遊泳水温が 孵化および幼体の運動性に及ぼす影響	タイマイの孵卵温度や孵化幼体が入水した時の海水温が、孵化率や孵化幼体の運動性にどのような影響を与えるのかを明らかにした。	横井瞳・ 笹井隆貴 ・ 小俣貴洋 ・ 喜原田賢 ・ 水落夏帆 ・ 河津勲 ・斉藤知己
19	令和3年度(公社)日本動物園水族館協会 九州・沖縄ブロック飼育技術者研究会 (オンライン)	2022年2月17日	シワハイルカにおける自衛行動の要因分析	シワハイルカの自衛行動の頻度と血中コレステロール濃度から、自衛要因の分析を行い、自衛行動を軽減するためには同居個体の選別や、イルカショー等の人間介入による多様な刺激を与えることが重要であると考えられた。	※ 山本るな ・ 比嘉 喜 ・ 河津 勲
20	第66回水族館技術者研究会 (オンライン)	2022年2月24日	トウカイスズメダイの繁殖行動と初期発生について	トウカイスズメダイの求愛行動から孵化までの一連の繁殖行動を観察し、初期形態を明らかにした。	※ 前田大海 ・ 比嘉俊博 ・ 高西穂子
21			ノコギリザメの飼育下における生殖周期について	飼育下のノコギリザメの超音波画像診断と血中性ステロイドホルモンの測定を行い、繁殖周期が約3年であることを明らかにした。	※ 高西穂子 ・ 村瀬清哉 ・ 金子肇史 ・ 比嘉俊博 ・ 佐藤圭一
22			産卵時刻の調整技術を利用したコエダミドリイシの産卵展示	コエダミドリイシ(累代飼育)の明暗周期を調整し、日中産卵の誘導を試みた。	松崎章平 ・ 梶谷太郎 ・ 永田史康 ・ 棚理宏秋 ・ 山本広義